

様々な活動を通して、心もからだも大きく成長してきたひまわりクラスの子どもたち。特におおきくなったね会に向けての活動を通して自分の気持ちを伝え、友だちの意見も聞き、意見の交換ができる様になりました。おおきくなったね会に向けての子どもたちの合言葉は「こころをひとつにして、きょうりょく。なーすりーさいごのおおきくなったねかいをがんばろう。」その言葉通り、子どもたちで意見を出し合い、台詞、表現の仕方を作り上げていました。保育者の用意した台本を見て、自分の言いやすい言葉にアレンジしたり、保育者のアドバイスにも「ちょっとかんがえてみる」と、納得できるまで意見の交換をしました。当日の子どもたちは自分たちで作った劇という自信に満ち溢れ、生き生きとしていて素敵でした。

劇あそび ごんぎつね

コミュニケーションの力や思いやりの

気持ちが育ってきた子どもたちの1月のある姿をお知らせします。



10名中、7名の子どもがマフラー編みが終わった1月初めの話し合い

Aちゃん：あのさ、まふらーってさ、はやくあまないとさくひんてんにかざれないよ

Bくん：いいんだよ。じぶんのすきなじかんにあめば。いまはべつなあそびがしたいから。

Aちゃん：そんなだったら、まえのひまわりさんのときのようにかんせいしないでかざることになるよ

Bくん：・・・。

Aちゃん：あそびたいきもちわかるけどさ、でもさ、みんなでいっしょにかざれたほうがいいとおもうよ

Bくん：・・・。

*後日、終わらないお友だちを心配して話し合いがありました。「あみものにしゅうちゅうしてないからあめない」「おしゃべりをがまんするとはやくあめる」「べつなあそびはすこしだけ、がまんしてがんばる。」などの意見が出ました。そして、最後に「てつだって、たすけてあげたい」「でも、じぶんでもがんばってほしい」「みんながかんせいしたらうれしいし、ひとりだけかんせいしてないのをかざったらかなしいから、かんせいできるようにおうえんしてあげたらいいとおもう」など 自分の思いを出し合いました。編み終えていない子どもたちは「じぶんがかざれないのはやっぱり、いやだかなしいから、かんせいさせたい」「じぶんでもがんばるから、てつだってほしい」「おうえんしてくれたら、がんばれる」などの気持ちが話されました。そして応援をしてもらいながらですが、皆で約束した12月中には完成させるという目標からすこし遅れた、1月末に全員完成させました。クラス皆で完成させられたことの達成感を共有し、喜び合うことができました。

今月のねらい

- 基本的な生活習慣が身につく、自信をもって行動する。
- 共通の目的をもって友だちと協力しやり遂げ、達成感を味わう。
- 数字や文字に興味をもつ。 • 戸外で体を動かして遊ぶ。

*木ノ下保育園との交流保育
荒川土手でチャンバラあそびをする予定。予定は子どもの体調を見て決めます。決まり次第掲示にてお知らせします。

*ひきふね保育園との交流保育
2月21日(水)
内容については決まり次第、掲示にてお知らせします。

じぶんであんだマフラーはとってもあったかいですよ。

